

創刊五十周年事業として千葉日報社が創設した「千葉教育大賞」の第一回大賞は、市原市立青葉台小学校の「地域で見守り育てる青葉台小学校」と決まった。昨年十二月十七日、千葉市内で開催された表彰式で、選考委員会の宮本みち子委員長（放送大学教授）は同小の活動について、「地域と一体になった活動は高く評価され、県全体に広がってほしい取り組みと感じた」と講評。そのほかの受賞活動についても「すべて次世代の健全育成に貢献する活動と感銘を受けた」と称えた。地道な教育活動への支援という目的を持った第一回千葉教育大賞の表彰式の模様や、受賞活動などを紹介する。



～学校と地域ではぐくむ～
第1回 千葉教育大賞表彰式

主催 千葉日報社 後援 千葉県教育委員会、千葉県教育関係団体連合会、千葉県研究開発協会、千葉県青少年協会

表彰式を終え記念写真に収まる受賞者の皆さん（前列左から佐藤氏、神作氏、樋口氏、成瀬氏、赤田社長、三石氏、宮本委員長、松苗氏＝勝山代表の代理＝、竹澤氏、中澤氏。後列は選考委員。左から五十嵐、岡田、森田、佐藤、西村、野口の各氏）